

1. 科目名 (単位数)	対照言語学 (2単位)	3. 科目番号	EIJP3345
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	3年次以上		
7. 講義概要	日本語と他の言語と共時的に比較対照する方法、および日本語の誤用分析の方法を勉強する。対照と誤用分析によって得られた知見を日本語教育にどのように応用するかもあわせて検討する。また、日本語教育への応用という視点から、日本語学習者にとって特に習得困難とされる項目を取り上げ、習得を困難にさせるさまざまな要因について検討していく。		
8. 学習目標	1. 比較対照および誤用分析に関する基本的概念を理解し、説明できるようになる。 2. 日本語学習者の習得を困難にさせる要因について分析できるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート 課題	1. 予習ノート (3点×10回) 2. まとめテスト (20点) 3. 期末レポート (10点)、口頭発表 (10点)		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 随時、授業内でプリントを配布する。 【参考書】 石綿敏雄『対象言語学』桜楓社、1990 黒田龍之介『外国語を学ぶための言語学の考え方』中央公論新社、2016 市川保子『日本語誤用例文小辞典』凡人社、1997		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	成績評価の規準(学習目標) 1 比較対照および誤用分析に関する基本的概念を理解し、説明できるようになったか。 2 日本語学習者の習得を困難にさせる要因について分析できるようになったか。 評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生への メッセージ	授業で誤用分析を学ぶだけでなく、実際に日本語学習者と会話をし、意識的に間違いを聞き取り、その背景にある言語の違いを認識してほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法)	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	スケジュールに沿って学習計画を立てる。
第2回	共時言語学と通時言語学 (世界の言語、語族)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第3回	対象言語学と比較言語学 (言語学の歴史、研究の対象、言語の側面)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第4回	対象言語学 (対象言語学の意義、統語論、意味論、語用論)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第5回	正の転移と負の転移 (母語の干渉)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第6回	誤用の段階 (誤用分析の意義、正確さと適切性)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第7回	誤用の種類 (文・談話、脱落、付加、誤形成、混同、位置など)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第8回	誤用分析の例 (助詞、活用、時制、語彙など)	事前学習	予習ノートにある語句の意味を調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第9回	まとめテスト レポート課題提示 (研究テーマ、調査方法)	事前学習	これまで学んだことを復習する。
		事後学習	レポート課題のテーマを決める。
第10回	まとめテストの返却と解説	事前学習	レポート課題の調査計画を立てる。
		事後学習	テストで間違えた問題を復習する。
第11回	英語母語話者の誤用例 (英語と日本語の違いをふまえた誤用分析)	事前学習	英語と日本語の違いを調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第12回	中国語母語話者の誤用例 (中国語と日本語の違いをふまえた誤用分析)	事前学習	中国語と日本語の違いを調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第13回	韓国語母語話者の誤用例 (韓国語と日本語の違いをふまえた誤用分析)	事前学習	韓国語と日本語の違いを調べる。
		事後学習	新たに学んだことや疑問点をノートに書く。
第14回	口頭発表、質疑応答 レポート提出 (レポートの評価項目、自己評価)	事前学習	レポートを完成させ、発表の準備をする。
		事後学習	発表とレポートについて自己評価をする。
第15回	ふりかえり (レポートの評価、アンケート)	事前学習	疑問点などがあれば整理しておく。
		事後学習	今後の学習計画を立てる。